

つながる、ひろがる、ひるがる、瀬戸屋敷

新たなスタート

瀬戸屋敷は、平成29年4月から指定管理者制度を導入し、民間事業者（株）オリエンタルコンサルタンツ）による管理運営が新たにスタートしました。この1年間、指定管理者による新しいアイデアや豊富なノウハウによって、瀬戸屋敷はさらに魅力的な姿へと進化し、来園者数は前年度比112%増の4万3,201人のようになりました。

地域と人を繋ぐ

瀬戸屋敷の新たな魅力のひと（と）「cafe hacco」（カフェハッコ）がオープンしました。カフェでは、吉田島高校の生徒が考案した乳酸飲料「ヨシビス」や障がいを持つ方々が作ったクッキー、町内に店舗を置く製菓店の菓子など、町内で生産されたものが数多く販売されています。また、カフェ内には地域

クリエイターの作品の展示・販売スペースが設けられており、地域のものづくりのプロたちの顔が見えるようになっていきます。瀬戸屋敷は、地域の味や手作りのぬくもりを届け、地域の生産者と瀬戸屋敷を訪れる人々を結びつける大きな役割を持っています。

新たな力が生まれる場所に

瀬戸屋敷を盛り上げる「せとわらし隊」として活躍している（株）オリエンタルコンサルタンツの関 詩織さんと森本健介さんは、瀬戸屋敷が目指す姿について次のように話します。

「私たちは、「思いを持った人が集い、活動することで人と人とが繋がり、新たな力が生まれる場所」を目指しています。みなさんのやってみたいという思いを応援し、瀬戸屋敷から発信していきます。」

自分の力が誰かの喜びに

定年退職後、しばらくして、町民の皆さんに喜ばれる仕事がしたいと思い、瀬戸屋敷のスタッフになりました。

ある時、ハーバリウムを知る機会があり、これを瀬戸屋敷でも作りたいと手を挙げました。

当初は、ハーバリウム製作の知識に乏しく苦労しましたが、試行錯誤の結果、今ではオリジナリティのあ

る良い作品が生まれたと感じています。

現役の際は直接お客様と接する機会はありませんでしたが、現在はハーバリウムを通じてお客様と直接触れ合い、喜ぶ顔を間近で見られることにとてもやりがいを感じています。何より自分がこれまで培った技術や知識、経験など、様々な力を発揮することで誰かに喜んでもらえる場があることを嬉しく思っています。

ここにしかない魅力

私はこれまで北部地域を訪れたことがほとんどありませんでしたが、瀬戸屋敷のスタッフとして関わってみると、地域の方々と（株）オリエンタルコンサルタンツなど多くの皆さんが北部地域を盛り上げようと奮闘する姿に触発されています。

これからの魅力発信し、かない多くの魅力を発信し、どの地域にも負けない素敵な地域を作っていけるよう、私自身その一翼を担ってきたいと思っています。

地域とともに進化する瀬戸屋敷

地域活動の活性化や農業振興に繋げるため、2020年度の稼働を目標に、駐車場の拡張や交流拠点の整備を行います。

駐車場は、大型バスも駐車できる規模の拡張を予定しており、あじさいまつりなどのイベント時の来園者の利便性向上を図ります。また、交流拠点整備として、案内・販売・加工の3つの機能を備えた施設の建設を予定し、瀬戸屋敷の交流拠点機能を強化します。

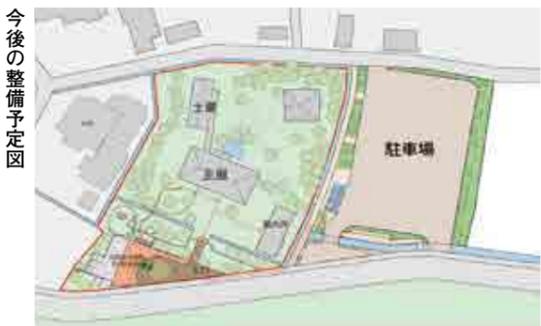


▲ハーバリウムとは、ドライフラワーを瓶に入れ、特殊なオイルを注いだもの。色つきのオイルは瀬戸屋敷のオリジナル。

ハーバリウム体験教室

瀬戸屋敷やその近辺の花を使用して作ります。開成町のお土産や大切な人へのプレゼントにオススメです！世界に一つだけのハーバリウムを作ってみませんか？

詳しくはこちら→
瀬戸屋敷HP



今後の整備予定図



カフェで
ひといき♪



（株）オリエンタルコンサルタンツ 森本さん

◀白いあじさい「アナベル」をイメージしたソーダ



▼コーヒーを縁側で



▼「はっこう大作戦」で生まれたしょうゆ麺ペーストtoast



cafe hacco (ハッコ)には、「開成町」がいっぱい！



▲町内事業所のおかし

瀬戸屋敷の看板犬、「せとちゃん」です！

